

『風と光と』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

地域教育支援では、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域に於ける体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

以上のことを目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

日々の「あたりまえ」を紡ぐ尊さ

富士・東部教育事務所 所長 小澤 香也

満開の桜から新緑へと移ろいゆく4月。通学路には、少し大きめのランドセルや制服を身にまとい、歩く子どもたちの姿が見られるようになりました。日を経るごとに表情が和らぎ、学校に慣れてきたことが伝わってきます。一方で、登校していく我が子の背中を見送る保護者の方や、例年と同じ場所、同じ時間に立ち続けている地域の方の姿も、今年も変わらずにありました。

地域教育情報誌「風と光と」第1号をお届けするにあたり、日頃より富士・東部教育事務所の取組に寄せていただいている御理解と御協力に、心より感謝申し上げます。

本事務所では、「地域教育フォーラム」や「明日の風」をはじめ、地域に根ざした教育活動を関係者の皆様とともに進めてきました。こうした取組は、特別な誰かの力だけで成り立つものではなく、地域の中で、日々さりげなく子どもたちに関わってくださる多くの方々に支えられているものだと感じています。

私が毎日、目にしている光景の一つに、通学路上の横断歩道前での見守りがあります。黄色のジャンパー姿で旗を手にし、毎朝、横断歩道前に立つ方がいます。子どもたちを安全に渡しながら、行き交う車に向かって静かに、少し深めの会釈をされている地域の方の姿です。止まってくれた車だけではなく、その場を通り過ぎていくだけの車にも、すべて同じように頭を下げておられます。

また、年度始めのこの時期は、通勤途中の道すがら、あちらこちらで我が子を見送る保護者の姿も目にします。何度も振り返る我が子に終始笑顔を返したり、祈るように手を振り続けたりするその姿に、子どもは未来から託された地域の宝物であるという想いをあらためて強くします。

それらの姿を見ていると、子どもたちの安全を見守るという、あたりまえのような日常の行為から、人としての在り方を教えていただいているように感じます。子どもたちは、大人がどのように周りの人と向き合っているかを、知らず知らずのうちによく見えています。毎朝会釈をなさっているその一場面が、手を振り続けてくれるその一場面が、安心感や信頼感として、子どもたちの心の中に留まっていくのだろうと思います。

脈々と続く地域の教育活動において、一つ一つの関わりが積み重なり、子どもたちが地域の中で大切にされていると感じながら育つことは、確かな意味をもつと考えています。そして、地域で育ててもらった子どもたちが大人となり、今は支える側として、すでに地域に立っています。これまで関わってくださった方々の想いと在り方が、少しずつ、しかし着実に紡がれてきたのだと思います。

長年続く地域に根ざした教育活動。そして、日々の「あたりまえ」の関わりが、明日も変わらず続いていくことを、心から願っています。今年度も、教育事務所スタッフ一同、地域の皆様と力を合わせながら、子どもたちの学びと育ちに寄り添っていきたくと考えています。今後とも、御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

《南・北都留地域教育推進連絡協議会の主な地域教育関連事業》

〔南都留関係〕

※網掛け…一般の方の参加可

| | 事業名 | 日程 | 場所 | 備考 |
|---------------------------|----------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|---|
| 主催事業 | 地域教育推進連絡協議会 理事会 総会 教育講演会 | 6月17日(水) 講演会 14:30~16:00 | 勝山ふれあいセンター さくやホール | ・講演会は一般の方も参加可 ・講演会「休み方を変える不登校支援」 (山梨大学 田中健史朗 氏) |
| | 教育相談ネットワーク会議 | 第1回 7月1日(水) | 南都留合同庁舎 | 南北都留の教育相談に関わる関係団体の情報交換 および学習会 |
| | | 第2回 12月2日(水) | | |
| | | 第3回 2月3日(水) | | |
| | 第29回南都留地域教育フォーラム | 11月6日(金) 13:30~ | 富士吉田市民会館 | 全体会と2つの分科会を開催 |
| 都留地区青少年の健全育成を目指す中・高連携連絡会議 | 第1回 5~6月頃 第2回 11~12月頃 | 都留興譲館高等学校 | 興譲館高校、都留市・西桂町・道志村の中学校の 教員による連携会議 | |
| 共催事業 | 富士吉田地区小中高連携連絡会議 ふるさと発見ワークショップ | 9月16日(水) | 明見中・吉田中 | 富士吉田市で働く若者による中学生対象のキャリア 教育 |
| | | 9月17日(木) | 下吉田中・富士見台 中・富士学苑中 | |
| | 親子カルチャー教室 | 8月1日(日) | 富士北稜高等学校 | 富士吉田市・富士河口湖町・忍野村・山中湖村・ 鳴沢村の小学4~6年生の児童およびその保護者 が対象 |
| | 親子ふれあい体験教室 | 8月11日(火・祝) | 都留興譲館高等学校 | 都留市・西桂町・道志村の小学4~6年生の児童 およびその保護者が対象 |
| | 南都留特別支援教育研究会 | 第1回 5月28日(木) | 富士吉田市民会館 (予定) | 南都留地区の特別支援を担当する小中学校教員の 研究会 |
| 第2回 6月23日(火) | | | | |
| 第3回 2月9日(火) | | | | |

〔北都留関係〕

| | 事業名 | 日程 | 場所 | 備考 |
|------|---------------------------|--|---------------------------------------|--|
| 主催事業 | 一人一花運動 花の種の配布 | 4月中旬 | | 配付先：北都留地区の構成団体 |
| | フォトライブラリー展 | 11月4日(水) ~12月4日(金) | 北都留教育会館 | 小中学生作成のポスター展示 |
| | 地域教育推進連絡協議会 定期総会・教育講演会 | 6月26日(金) 講演会 15:00~16:30 | 大月市民会館 | ・講演会は一般の方も参加可 ・講演会「援助者のためのメンタルケア」 (山梨県立大学 山中達也氏) |
| | アスリート実技講習会 全6回 | ① 4月29日(水・祝) ② 6月6日(土) ③ 10月10日(土) | ④ 11月14日(土) ⑤ 2月6日(土) ⑥ 3月6日(土) | ・陸上競技(トラック&フィールド種目)の実技指導 ・1回だけでも参加可能 ②⑤：大月市民総合体育館、その他：大月市宮陸上競技場 |
| | 芸術鑑賞教室 by 銘楽堂 | 6月16日(火) | 秋山小学校体育館 | プロの演者による音楽鑑賞会(秋山保小中合同開催) |
| | 歌唱指導講座 by 銘楽堂 | 7月29日(水) | 銘楽堂 | 歌唱・合唱指導を学びたい幼保学校教職員 |
| | クリスマスコンサート by 銘楽堂 | 12月6日(日) | 上野原市文化ホール | クリスマスコンサート |
| 共催事業 | 伊藤知治教士八段 剣道教室 | 9月27日(日) | 大月短期大学体育館 | 剣道初心者も歓迎 |
| | 帝京科学の夏まつり | 未定 | 帝京科学大学 | 未定 |
| | チャレンジ! 上高アニメーション | 8月5日(水) | 上野原高等学校 | 北都留地区の中学生と上野原高校生が交流する読書会 |
| 協力事業 | シオジ森の学校 | 森で楽しもう①探鳥会 | シオジの森 | 他にもイベントが予定されています ※申し込み家庭ごと登録費用(通信連絡費)が500円か かります。登録すると各講座の前に担当者から詳しいお 知らせが届きます。 |
| | | 枝打ち体験 | シオジの森 | |
| | | トレッキング(夏・秋) | シオジの森 | |
| | | ロケットストーブ作り | | |



南都留教育フォーラム



親子カルチャー教室



親子ふれあい体験教室



アスリート実技講習会



伊藤知治教士八段 剣道教室



銘楽堂クリスマスコンサート



チャレンジ！上高アニメーション



シオジ森の学校

《社会教育地域教育関連事業》

| 事業名 | 内容等 |
|---|--|
| 南都留地区社会教育担当者会 | 年間6回開催。南都留地区の社会教育（生涯学習）担当者の情報交換・意思疎通および研修を実施します。 |
| 南都留地区ジュニアリーダー・アウトドア体験 | 実施予定。場所及び日程は未定。R7年度は「道志川溪流フィッシングセンター」での溪流釣り体験と「みなもと体験館」でのうどん打ちと木工体験。 |
| 南都留地区社会教育委員連絡協議会定期総会及び春季研修会 | 5月19日（火）研修会：パラアスリート 成嶋徹氏『自分を信じて強く生きる』 |
| 北都留地区社会教育業務説明会議 | 市町村社会教育担当者と、教育事務所との連携を図ります。 ①4月15日（水）上野原市 ②11月17日（火）丹波山村 |
| 放課後子ども総合プラン推進事業「放課後子ども教室」 「放課後児童クラブ」 | 読み聞かせ、折り紙、季節行事、野外学習、学習の補助等、放課後や週末における子どもたちの安心で豊かな体験を育む居場所作り。 |
| 山梨ことぶき勸学院 | 新1年生（40期生） 南都留教室 21名、北都留教室 10名 新2年生（39期生） 南都留教室 8名、北都留教室 7名 |
| フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」 | 8月2日（日）～8日（土）八丈島での体験学習 |

問い続け、つなげていく ～ 河高KIP 探究のバトン ～ 富士河口湖高校

○日 時 3月11日（水） ○場 所 富士河口湖高校体育館

○内 容

・富士河口湖高校では、地域課題を自ら見つけ、解決に向けて考え行動する力を育てる「KIP（Kawako Insight Program）」に取り組んでいます。地域理解を深め、将来の課題解決リーダーを育てる河高独自の探究活動です。

・この日は4つのテーマ（環境・防災、産業・観光、医療・福祉、暮らしと文化）から2グループずつ、計8グループが代表として発表しました。観光分野は、「隠れスポット紹介による分散型観光」に着目し、富士河口湖の魅力をどう楽しんでもらうかを追究しました。火祭りを扱ったグループは、松明づくりから祭への参加まで実体験を基に地域文化の本質を伝え、説得力のある発表でした。防災分野では、校内ハザードマップ作成や防災倉庫の物品確認など、河高生だからこそできる現場密着型の探究が印象的でした。食生活改善では、若手教員の健康を気遣う生徒の温かい視点が光り、普段の良好な先生と生徒の関係が伝わりました。このほか、吉田のうどんの魅力発信、ハタオリ文化の課題解決、ナラ枯れ問題の考察、そして高齢者ドライバー問題



発表会の様子



発表する生徒たち



実物を見せてリアルを伝えます



地域の方々も参加しました



大事なことをメモする生徒



聴く態度も素晴らしい！

など、地域の“今”に向き合った発表も見られました。

○感想

「高校生ならではの身近で興味のあるテーマが多く、一つ一つの探究を大切にしている姿勢が印象的でした。研究を後輩に託す仕組みもよく、発表を聴く生徒の態度にも感銘を受けました。」（地域住民）

KIP では、2年生が行った探究を後輩が引き継ぐ仕組みを採用しており、“学びをつなぐ”姿勢が大きな特徴です。生徒たちの探究の成果が、地域の未来と次世代の学びへ確実に繋がっていくことが期待されます。

「つる探成果全体発表会」～高校生の探究が社会を動かす！～都留高校

○日時 3月13日（金） [都留高ホームページはこちら！](#)→

○場所 都留高校格技場、同校体育館

○内容

・「つる探」では、これまでに富士急行線大月駅への副駅名「都留高等学校前」の追加につながった取組など、**地域や社会に実際の変化**をもたらす成果が生まれています。

・午前中は、1・2年生全員が交代で**ポスターセッション**を行い、午後は、代表グループによる**全体発表会**が行われました。高校生ならではの視点を生かした研究や、行動力あふれるフィールドワークが紹介されて、学校外で主体的に活動する都留高生の姿が力強く伝わりました。今年度はライブ配信も導入され、地域のより多くの方々が参加できる工夫も見られました。

・審査員は、大月市長をはじめ、東京都立大学・山梨大学・山梨県立大学・都留文科大学など、**各分野の専門家の方々**が務め、来年度以降の探究活動をさらに深めるための助言が送られました。

〈**最優秀賞**〉「テーマパークを効率的に回るには？～東京ディズニーシーから考えるTDTSP～」→待ち時間を減らす最適ルートを数学的データ分析を用いて提案。

〈**審査員特別賞**〉「～TSURUTANプロジェクト～郡内織の新たなビジネスモデルの提案～」→行政・企業・地域団体と協力し、郡内織を用いたタンブラーの製品化と販売に向けたビジネスモデルを構築する取組。

○感想

「成果がどれも興味深く、今の高校生はこなすすごい学習をしているんだなあと感じました。」「子供たちの頑張った成果が見られて嬉しかったです。」（保護者）

都留高生は、日頃の学びを行動へと結びつけ、その行動を地域社会の変化へとつなげていく力を確実に身につけています。こうした探究心と実践力は、次世代を担う若者として非常に頼もしいものでした。来年度以降もますます『つる探』をとおして、都留高生がたくましく成長することを大いに期待しています！



格技場(左)と体育館でのポスターセッションの様子



保護者や地域の方に、一生懸命説明する都留高生



研究者になりきって発表！



全体発表会の様子



質問や意見はネットでいきます



発表ごとに講評を頂きました



最優秀賞のグループメンバー！衣装もGood！

中学生が市議へ直接政策提言！ 上野原中学校

○日時 2月24日（火） ○場所 上野原中学校の会議室

○参加者 上野原市役所 政策秘書課 制作担当 山田一輝氏
上野原市議 7名、CS委員 田口茂貴氏、保護者 ほか

○内容

・上野原中学校では、学年ごとに「地域を知る」「職場体験」「政策提言」と段階的に探究学習を進めています。3年生は地域課題を学び、自分たちで政策を考えてまとめる学習に取り組み、その成果として今回は代表2名が研究した政策案を市議に直接提案するという実践的な場を経験しました。



発表会の様子

・3年生は、7月に山田氏から市の現状や課題について講演を受けて、その後は各自がテーマを設定して政策案を作成し、学年で意見交換しながら内容を磨き上げてきました。2月には再度アドバイスをいただき、市の視点が加わることで提案の精度がさらに向上。こうした段階的な探究の積み重ねが、行政に届くレベルの政策提言を可能にしました。

・**森山 佑剛さん『上野原市へ移住者を』**市の人口推移や移住者数の現状を整理して課題を示し、「もっと多くの人に上野原を知ってもらうことが第一歩」という考えから、“市にPR課を新設する”というアイデアを提案。中学生ならではの柔軟な発想で、市の魅力発信の強化を訴えました。

・**幡野 里佳さん『上野原市の子育て支援を充実させる』**人口減少や子育て環境の現状を分析した上で支援策の拡充を提案。市の財源の限界を踏まえ、“クラウドファンディングによる財源確保”という外部資金の活用を考えたことに、市議からも高い評価が寄せられました。

○市役所・市議からの反応

「すぐにでも市長に持っていきたい素晴らしいアイデアです！」という言葉が飛び出し、市議の皆さんからも深い質問や専門的なアドバイスが次々と寄せられました。生徒たちの提案が“現実味ある政策”として受け止められたことが印象的でした。

今回の取り組みは、単なる「学校での学習」にとどまらず、中学生の探究が市の行政や議会へ直接つながった貴重な実践例となりました。生徒たちの真剣な探究心と地域への思いが、多くの大人たちの心を動かした一日でした。



学年を代表して発表してくれた森山さん(左)と幡野さん



上野原市議も皆さん生徒の発表を熱心に聞いています。



研究を深める忠告も！

みんな真剣に聞いています



講評を述べる山田氏(左)と八木議長

“カフェ 谷ニッコリ☺”～子ども・家庭・地域が出会う学びの場～ 谷村第二小学校

○日 時 3月4日(水) 13:30～15:00

都留市広報でもCS特集！

こちらをご覧ください →



○場 所 谷村第二小学校

○主 催 谷村第二小学校学校運営協議会、谷村第二小学校

○参加者 相川義美さん(運営協議会長)、Chen Wenyu さん(保護者)、教職員、小学6年生ほか

○内 容

・お茶を片手に、学校や子供たちの話を気軽に語り合う、谷二小ならではの人気企画。「敷居の低さ」が参加者を自然に笑顔にします。この日**6年生全員が参加！**家庭科「団らん」の実習として子供たちが加わり、にぎやかさは最高潮。いつも以上に温かく活気あるカフェになりました。6年生の一部が、**地域で自主的にゴミ拾い**を続けていることが話題に。「先生も知らなかった！」と驚きの声も上がり、カフェの意義が感じられる瞬間でした。

・奥協校長先生のアイデアで、シンガーソングライター岩崎健一さんのミニライブをサプライズ開催！会場は一気にライブハウスのような熱気に包まれました。

・相川さんの「谷二小で残してほしいものは？」質問に、多くの子供が即答したのはまさかの「谷ニッコリ！」子供たちにとっても、大切な居場所になっていることが伝わってきました。

◆ **地域と学校がつくる「未来の町」への想い** 相川さんの言葉より「学校のニーズを知り、地域でできることでしっかりサポートしたい。自然体験や農業体験、昔遊びなどの活動を通じて、地域理解を深め、学校と地域が協働する町づくりを進めていきたい。」まさに、これからの“地域と学校の理想的な形”を感じさせるメッセージでした。

カフェ谷ニッコリは、保護者や地域の方にとって少し高く感じられる学校の敷居をやわらかく下げ、誰もが自然につながる場所です。ここで生まれる交流は、地域と学校を結ぶ大切な絆となり、地域づくりや、子供たちを支える力につながっていきます。



岩崎健一さん(左)によるミニライブ



オープンに向けて準備します

お気に入りのドリンクを作る児童たち



今日のカフェはかなり賑やか(´▽`)v ゆる～い雰囲気でお話も弾みます

中学生と園児が「ケサラ」の合唱で世代をつなく 開地保育園・都留一中

○日 時 2月28日(土) 9:00 ~ 12:00

○場 所 都の杜うぐいすホール

○主 催 開地保育園

○内 容

・都留第一中学校と開地保育園による交流事業として、中学生29名が同園の生活発表会に参加。

・昨年秋の開地保育園秋祭りでは、都留一中生が迫力あるソーラン節を披露し、会場を大いに盛り上げました。今回の生活発表会では**都留一中の伝統合唱曲『ケサラ』を全員で大合唱**。世代を越えた歌声に会場から大きな拍手が送られました。

・中学生にとって園児と触れ合う機会は貴重で、保育への理解が深まる場に。また3年生にとっては後輩への**“伝統の継承”**としても意味のある活動となりました。開地保育園の生活発表会は、園児・保護者・保育士ともに楽しめる**“地域の場”**として定着しています。

・**亀澤園長コメント** 「中学生の中には当園の卒園生もいます。こうして“帰ってきてくれる”ことが嬉しい。今後もつながりを大切にし、地域活性化につなげていきたい。」

○感 想 (中学生)

「都留一中の地域での取り組みを多くの方に見てもらえて良かった。都留一中の『ケサラ』を伝えられたことも嬉しかったです。」

都留一中と開地保育園の交流は、年齢の異なる子供同士が関わり合うことで、思いやりや憧れといったタテのつながりを育む貴重な機会となっています。中学生にとっては地域や保育への理解が深まり、園児にとっては身近な“お兄さん・お姉さん”の存在が安心感や学びにつながります。こうした相互理解と協力の広がり地域にも波及し、地域全体の活性化にもつながることが期待されます。

開地保育園のインスタはこちら →
イベント情報などあります!



開地保育園
@KAICHIHOIKUEN



園児から先生方まで、心を一つにして『ケサラ』を歌い上げました



都留一中生と園児の共演! 中学生にインタビューする亀澤園長



アイドルのコンサート会場?

たくさんの方が来場しました



みんなが楽しめる発表会、素晴らしい!

明日の風 アスリート実技講習会

○日 時 3月7日(土) 9:00 ~ 12:00

○場 所 大月市民総合グラウンド

○参加者 北都留地区の小中学生33名

○種 目 ・走り高跳び・走り幅跳び ・ジャベリックスロー
・短距離走 ・60mハードル ・長距離走

○内 容

・この日は令和7年度最後の講習会となりました。講習会では、主に富士・東部地区の小中学校の先生方や桃太郎スポーツクラブのコーチの皆様が講師を務め、各種目の指導にあたってくださっています。準備運動の後、体づくりのトレーニングを行い、競技力向上につながる体の動かし方や使い方について、丁寧な解説を交えて指導していただきました。

・子どもたちは6種目の中から希望する2種目に参加し、それぞれの種目で担当講師から実技指導を受けた後、記録会に挑戦。自己ベストの更新を目指して真剣に取り組みました。最後は恒例のリレーを行いました。グラウンドの状態が悪かったため直線の往復形式となりましたが、たいへん盛り上がり、子どもたちの元気な声が響きました。

今後の予定 6月6日(土) 10月10日(土)
11月14日(土) 2月6日(土) 3月6日(土)



体を使った全力ジャンケン

体の使い方を丁寧に指導



足の使い方の指導

一つ一つ丁寧に指導します



すぐ仲良くなります!

個別の指導も充実

○参加者の感想

「最初はうまくハードルを跳べなかったけど、講師の先生が丁寧に教えてくれて跳べるようになってすごうれしかったです。」「学校ではできない種目も体験できて楽しかったです。」

講師の先生方の丁寧な指導で、「できた!」「もっとやりたい!」という声がたくさん生まれました。運動が得意な子も初めての子も、新しい発見がきっとあります。今年度もたくさんの参加をお待ちしています。ワクワクする体験をぜひ一緒に味わってください!



リレー前の作戦会議



リレーは盛り上がる!

『制服おゆずり会』～地域でつなぐ制服のバトン～ 上野原市社会福祉協議会

○日 時 3月14日(土) 9:30 ~ 12:00

○場 所 総合福祉センターふじみ

○主催者 上野原市社会福祉協議会(社協)

○協 力 まちなかの会、手話サークル「手輪っち」
個人ボランティア他

○内 容

・上野原市社協では、これまで長年実施してきた福祉用品の無料譲渡会に加え、令和6年度より「制服おゆずり会」を開始。事前に回収した制服・体育着・通学バッグなどの学用品を、希望者に**無料でおゆずり**しました。おゆずり会に向けたアイロンがけ、会場の陳列準備、当日の受付や案内などは、**ボランティアの皆さんが大活躍**。無料でゆずり受けですが、**赤い羽根共同募金**への協力も呼びかけました。

○主催者の声

「令和6年度から始めましたが、少しずつ地域の方に認知していただけるようになりました。この会を必要としている方々のために、**細々とでも継続**していきたいです。運営にあたり、ボランティアの皆さんにご協力をいただき、大変感謝しております。」

○利用者の声

「制服は決して安い買い物ではないので大変助かります。**今後もぜひ続けていただきたい**です。このような取り組みが他の地域にも広がっていくことを期待します。」「子どもはすぐ大きくなるため、サイズアウトした制服の処理に困ることがありました。このような機会に、必要な方に使っていただけるのはとてもありがたいです。」

制服おゆずり会は、地域の協力と善意によって支えられ、必要とする家庭に安心を届ける取り組みとして定着しつつあります。譲る人と受け取る人の思いが繋がるこの場が、今後も地域に広がり、子どもたちと家庭を支える力となっていくことを願っています。



ボランティアの方々が接客しています



丁寧に陳列された制服



サイズが合う制服を探す参加者



体育着も多数用意されました



「ちょっと大きいかな?」



「ピッタリだね!」「うん!」

～まだまだ青春真っ盛り～ 山梨ことぶき勸学院

卒業式

○日 時 3月18日(水) 13:10 ~ 16:15

○場 所 リッチダイヤモンド総合市民会館 芸術ホール

○内 容

・甲州おもてなし芸人として活躍し、「やまなし大使」も務めるご夫婦コンビ『かがみもち』による太神楽の披露が行われました。和傘の上で升を回すなど、おめでたい芸として知られる華やかな曲芸で、勸学院生の卒業式に大きな彩りを添えていただきました。

・異世代交流の取組として、青洲高校音楽部による合唱も披露されました。勸学院生にもなじみ深い楽曲が多く、会場は笑顔に包まれ、心温まる時間となりました。



『かがみもち』のお二人による曲芸



青洲高校音楽部の演奏



小幡先生(前列中央)と南都留教室の皆さん

・卒業証書授与式では、2年間にわたる学びを称えとともに、今後の地域での活躍への期待を込めた言葉が添えられ、卒業証書が授与されました。厳肅さの中にも温かい雰囲気漂う、たいへん素敵な式となりました。

生涯学び続けることの大切さと、学びが人生を豊かにしてくれることを改めて実感する機会となりました。



浅川先生(前列中央)と北都留教室の皆さん

入学式

○日 時 4月14日(火) 14:10 ~ 16:20

○場 所 山梨県立文学館 講堂

○内 容

・学院長である荻野教育長から、「学ぶことによって思考の癖から自由になる。『開かれた心』を手に入れて人生をさらに豊かにしていただきたい」とお祝いの言葉が送られました。始業式後には、ヴァイオリニストの浅川那由多氏による講演会! 「弱視の障がいがあったからこそこの出会いがあった」とのお話や、懐かしい名曲を聞きながら楽しいひとときを過ごしました。



荻野智夫教育長の式辞



学院生代表から歓迎の言葉



浅川那由多氏の演奏



南教室の入学生



北教室の入学生



南教室の2年生



北教室の2年生

開講式(南都留)

○日 時 2年生:4月21日(火)、1年生:4月24日(金)

○場 所 南都留合同庁舎4階大会議室

開講式(北都留)

○日 時 1年生:4月24日(金)、2年生:4月27日(月)

○場 所 1年生:上野原市文化ホール、2年生:大月短期大学

来賓の方々からの祝辞や学院性一人一人の呼名が行われ、これから1年間の学びがスタートする温かい雰囲気に包まれた開講式でした!

シオジ森の学校 オープンキャンパス~鹿の食害調査の発表と積み木遊び~

○日 時 4月25日(土) 13:30~16:00

○場 所 大月市民会館3F講堂

○内 容 [シオジ森の学校の詳細はこちら!>](#)



1. 校長先生のあいさつ

・多くの人の「森を大切にしよう」という気持ちを育てたいという思いで22年目。山がたくさんあるところで育てよかったと思って欲しい。

2. 都留高校・つる探グループが調査した大月の森の現状!

『白谷の丸南斜面における鹿の食害調査』

・鹿の食害により植物の多様性が失われてしまった白谷の丸を30年前の花畑に戻したいという思いで防鹿柵を設置して観察。柵の中は多様性が戻ったことを報告してくれました。食害はあるが、鹿にとっても白谷の丸は大切な場所なので、人と自然と鹿の共存ができればいいなと素晴らしい発表でした。

3. 1万個の積み木で遊ぼう!

・積み木を浴びて木のぬくもりを感じてからスタート。子どもも大人も真剣な眼差しで積み木を積み上げて、都会に負けない高層ビル群ができました。最後はみんなの作品を橋でつないで壮大なスケールの積み木の街が完成しました。



校長・天野先生



都留高校の皆さん



バフボを用いた発表!



発表を聞く方も真剣



大人も子どもも真剣!



個々の作品を繋げて完成!

シオジ森の学校 年間講座一覧

5月16日(土)「鳥の観察会」

6月13日(土)「枝打ち体験・シオジの森観察」

6月27日(土)「サンショウウオ観察」

7月25日(土)「夏のトレッキング」

10月24日(土)「森の土壌動物観察」

10月31日(土)「秋のトレッキング」

11月下旬「ロケットストーブづくり&ランチ」

お問い合わせ

山梨県大月市大月 2-12-29 誠実堂内

Tel: 0554-22-2775

Fax: 0554-22-4389

Email: shioji@seijitsudo.com